

# ブナの巨木「森の神」

○場 所 青森県十和田市奥瀬 幌内山国有林80林班ろ小班  
(北緯40° 31'42" 東経140° 56'12")

○大きさ 幹周り601cm(直径191cm) 樹高30.2m 推定樹齢約400年

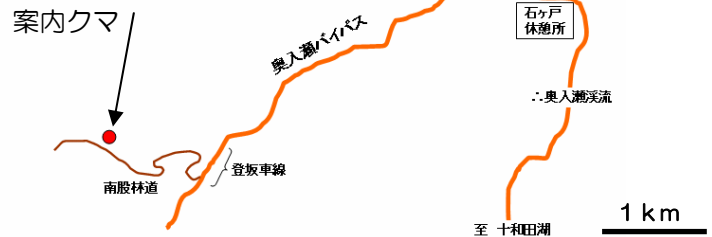
## このブナは

幹が三本に分かれています。昔からきこりの間で3本に分かれた巨木を神様としてあがめたり、三つ又の木は重心の見極めが難しく伐採に危険が伴うため「三つ又の木は伐るな」といわれてきました。このため、このブナは「森の神」として残されてきたようです。

平成19年に巨樹・巨木林の会により国内最大級であると確認され、見学者も多くなったので、平成20年10月に十和田市文化財保護協会、(財)日本森林林業振興会青森支部のほか、大勢のボランティアの皆さんの協力で、根を保護する柵と説明板を設置しました。

## アクセス

十和田市焼山から国道102号を十和田湖方面へ約4kmで右折し奥入瀬バイパスに入り、トンネルを過ぎて約2kmで登坂車線となるあたりを右折、南股林道に入り約1.8km行くと、道路右の待避所に「案内クマ」が立っています。そこから歩いて約200mです。



## 枯れ木・枯れ枝に注意！ 事故の未然防止にご協力ください

この森では、年老いた木と若い木が、自然に世代交代をくりかえしています。

このため、枯れ木が倒れたり、枯れ枝が落ちてくるので、十分に注意して下さい。

特に、風の強い日は入林しないで下さい。

ゴミの持ち帰り、タバコの始末など、山のマナーにも、ご協力をお願いします。

## <お問い合わせ先>

三八上北森林管理署 電話0176-23-3551

(平成22年4月作成)